２０２６．１０．２０　北海道通信

前年度活動報告を承認

釧路新産業創造研が総会

【釧路発】サンエス電気通信㈱（釧路市）の宮田昌利社長が会長を務める釧路新産業創造研究会は16日、釧路市内のデジラボで２０２６年度総会を開催＝写真＝。33人が出席し、25年度活動報告を承認したほか、意見交換でヘルシーバランス釧路モデルプロジェクトやエゾ鹿革ビジネスなどの進捗状況などを報告した。

活動報告では、まず㈱山一佐藤紙店の佐藤公一郎社長が25年に新会社を立ち上げて展開中の「エゾ鹿革ビジネス」についての本年度の活動内容を説明。様々な鹿革製品を開発する中で、ことし8月オープンのホテルのルームカードキーケースの受注に成功したことなどを報告した。今後に向けて佐藤社長は「エゾ鹿革を世界の倫理素材へ」との目標を示した。

アルプス薬品工業㈱の小野光則理学博士は「働く人が元気でなければ釧路の復興は実現しない」との考えから、働く人の健康寿命を延伸するサプリメントを開発。無料の20週間モデルに１４７人が参加し、サプリの効果を実証している。

最後に宮田会長が総括し「エゾ鹿革もサプリも順調にここまできた。植物工場立地・陸上養殖プロジェクトも含めてみんなで応援しながら釧路を盛り上げていきたい」と述べた。

サンエス企業グループ代表 宮田昌利が会長を務める「釧路新産業創造研究会」の関係記事です

10月20日付の北海道新聞、北海道建設新聞にも同様の記事が掲載されました